

がん高度実践看護師WG講演会 in Yamaguchi

「がん医療の新たなニーズやアンメットニーズに応えるケアの質向上を推進する看護師養成」

「がん患者における運動および食事の重要性、 生活習慣改善のための工夫」

令和7年

10月21日(火)

17:00~18:30
(16:30受付開始)

会場

山口大学医学部
霜仁会館 3階 多目的室

オンデマンド配信あり

参加費

無料

※お車でご越しの方は病院外来駐車場をご利用ください。
駐車券は講演会受付までご持参ください。

オンデマンド配信期間

令和7年10月27日(月) 13:00
~11月21日(金) 15:00

対象

医療従事者
医学系大学院生

講師

奥松 功基 先生

(リオールジム代表) 理学療法士



リオールジム代表 スポーツ医学博士。

母がステージ3の乳がんと診断されたことをきっかけに、筑波大で運動の研究を開始。乳がん手術件数で日本トップクラスの聖路加国際病院と6年間共同研究をおこなう、スポーツ医学の博士号を取得。これまでに10件以上の学会発表をおこなう。リオールジムの前身となるマンマリアフィットネスでは、トレーナーとして24カ月連続満席を達成。2023年にジムの運営を引き続き、リオールジム代表として活動。NHKや読売新聞などメディア出演多数。

国際学術誌などで乳がん経験者向けの運動に関する論文を複数執筆。筆頭著者として6本の学術論文を執筆し、博士論文は筑波大学の専攻長賞を受賞。これまでに、乳がん経験者における運動が体力に与える影響や、ホルモン療法と体重変化の関連などを論文執筆。乳がん分野に限らず、一般的な健康（メタボ）に関する論文や高齢者の尿漏れに関する論文も執筆し、スポーツ科学について幅広く精通。

司会

齊田 菜穂子 先生

山口大学大学院医学系研究科保健学専攻教授

お申込み



QRコードより
お申込みください

お問い合わせ

山口大学医学部学務課

がんプロ事務室

TEL : 0836-22-2055

Mail : ganpro@yamaguchi-u.ac.jp

主催：山口大学大学院医学系研究科保健学専攻
鳥取大学大学院医学系研究科医科学専攻
愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻

高知県立大学大学院看護学研究科
徳島大学大学院保健科学研究科